

(前ページよりつづく)
 時点で12268筆と目標達成しました。特に虹の会は目標比600%、介護老人保健施設ひだまりの里366%、潮江診療所250%と超過達成をした事業所もありました。また毎月19日の宣伝行動、機関紙折込では1690筆が得られたことなど、多くの成果も得られました。戦争法廃止運動の大きな前進として、市内3医療生協(尼崎医療生協、阪神医療生協、ひまわり医療生協)がそれぞれの違いを超えて、共同して運動を進めたことも挙げておかなければなり



ません。多くの人たちの協力で、戦争法廃止運動を進めてきたこと、さらに参議院選挙にもこうした意思を示す動きとなったことは、運動の大きな前進だと感じています。

総代会での 発言



健康づくり委員会の 取り組みから

健康づくり委員会 永尾あけみさん
委員長

理事会専門委員会の一つとして健康づくり委員会があり、組合員の健康づくりをリードする取り組みを進めています。委員会では、ロコモ、メタボ、認知症予防の3つに分かれて学習と交流を進めています。それぞれの委員が班や支部において学んだことを伝え、広げる役割も果たしています。また大学生協での健康チェックでは多くの大学生への健康づくりに協力しています。今年は尼崎市制100周年を記念した「適塩化フォーラム」へ市内3医療生協とともにブースを出展。血圧と血管年齢測定には270人もの人たちが並び、大好評でした。医療福祉生協連が商標登録した「すこしお」減塩グッズを販売、すべて完売。大きな反響となりました。3医療生協との協同とともに、尼崎市や医師会とのつながりもしっかり築くことができました。ぜひ、医療福祉生協「すこしお」をすべての組合員さんに体験してもらいたいと思っています。これからもがんばって活動を進めます。

5階病棟まで食事リレー

熊本地震被災地支援報告

尼崎医療生協病院2階
東病棟看護師 間山真唯さん

私は阪神淡路大震災当時4歳で、当時の経験から看護師を目指しました。4月14日に発災した熊本地震の被災地支援活動には4月19日から22日まで従事しました。出発式では大勢の地域組合員さんに送られ、大牟田市米の山病院に向かいました。そこで被災地に入る前のオリエンテーションを受けました。支援策はくわみず病院、益城町避難所、南阿蘇避難所、菊陽病院でしたが、私は菊陽病院へ行くことになりました。支援1日目電気は復旧しているものの、エレベーターが動かず、患者さんの食事を5階までバケツリレーしました。支援2日目には地域支援として避難所へ。子どもが赤ちゃん返りしていたり、避難所への支援が不十分な中でトラブルもありました。支援3日目、病棟支援をしました。スタッフも被災者で避難所や車中泊生活をして大変な状況でした。支援活動を通して、継続的な支援が必要なこと、経験した震災体験を無駄にしないこと、こうしたことを今後私たちはやっていけないといけないのではないかと思います。



地域と組合員に 貢献できる 医療生協に

尼崎医療生協・ 第四次5ヵ年計画策定 に向けて

長期計画策定委員会 委員長
大澤芳清さん

2017年から2021年かけて第四次5ヵ年計画を策定し、尼崎医療生協の理念とビジョンを定めて具体的な計画をつくっていかうと準備しています。これまで、3回にわたる長期計画と累積赤字解消6ヵ年計画、地域包括ケア戦略会議など、法人の事業と運動をめぐってさまざまな論議が行われてきました。こうした歴史的経過を踏まえながら、今回は第四次5ヵ年計画を策定していこうと思っています。委員会ではボトムアップ



型(下からの積み上げ型)で私たちの大切にしているものを集約してきました。地域組合員のみなさんからはアンケート用紙

がびっちりになるくらいの「想い」もいただきました。委員会では「私たちは、平和といのちの平等をめざし、健康で安心してくらするまちをつくりまします」とビジョンを整理しました。ここから、各事業分野や組合員活動分野、そして多様な連携を模索して、地域と組合員に貢献できる医療生協とすべく、総代会後には細かな計画づくりを進めていきます。詳しくは長期計画を、臨時に総代会を開催して議案としてお諮りしたいと思います。

尼崎医療生協 2016年度 (第48期) 通常総代会を 開催



6月26日、尼崎市中小企業センターにて2016年度通常総代会を開催し、2015年度のまとめと2016年度の方針、決算・監査報告、予算案及び役員報酬、役員選任など、すべての議案を確認しました。

2016年度の特徴

1. 憲法9条と25条をめぐるせめぎあいの年
2. 地域包括ケア時代の地域ニーズに応え得る医療生協への進化の年
3. 尼崎医療生協の新たな発展を切り拓く第四次長期計画策定の年

2016年8月号外
総代会特集

尼崎医療生活協同組合

にじ健康

発行：尼崎医療生活協同組合

発行責任者：福島 哲

〒661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘11丁目12番1号

TEL 06-6436-9500 FAX 06-6436-9511

Email: kumikatu@amagasaki.coop

ホームページ: <http://www.amagasaki.coop/>

2016年度の
メインテーマ

「いのちの平等」の事業と運動の土台としての 「平和」をまもり抜く

人とつながり支え合おう、
安心してくらし続けられる
まちをみんなのでつくる



○総代会とは
消費生活協同組合(生協法)に定められた生活協同組合の最高意思決定機関です。各選挙区から選出された総代(代表者)が出資金額に関わらず1人1票制で議決に参加することで、民主的な意思決定を可能にしています。

総代会で報告・議論された各議案内容です。

第1号議案
2015年度のまとめ
2016年度の方針

各地で健康づくり実践が前進
仲間ふやしの年間目標達成

福島専務より、助け合いの会「ご近所さん」の活躍、「つどいの場」づくりの実践、健診受診運動とともに各地で健康づくり実践が行われたことで、15年度の活動が大きく進められたことが報告されました。10・4セーノ行動でも医療福祉生協連が進める300万人組合員達成の運動に呼応し、仲間ふやして年間目標を達成できました。こうした諸

活動を通じて、組合員は医療生協活動に確信を持たせたと思います。2016年度は地域包括ケア時代に地域ニーズに応え得る医療生協への進化の年として、地域での健康づくりや助け合い活動を大きく広げていくことが提案され、その土台には憲法9条や25条を活かした平和な社会があってこそだと確認しました。

第2号議案
2015年度決算
及び監査報告

赤字解消へ着実に前進

2015年度の経常剰余は1億1,317万円、当期剰余は6,431万円となり、前年から1億1,772万円当期剰余が減少しました。これにより、15年度予算は達成できませんでしたが、2009年末に11億円を超えた累積赤字が、累積赤字解消6カ年計画最終年となった2015年には

2億6,970万円を残したものの、6カ年で8億9千万円あまりの改善となり累積赤字解消に向けて着実に前進しました。監査団からは、これまでの経営改善の成果を評価するとともに、今後の経営基盤の構築の必要性が述べられました。

第3号議案
2016年度予算案

「新・累積赤字解消
4カ年計画」を策定

「新・累積赤字解消4カ年計画」を策定し、2億7千万円程度残っている累積赤字を4年で解消するために、法人として毎年1億5千万円の剰余目標を設定します。2016年度予算も各事業所管理部、職員の論

議で積み上げて作った1億5,054万円となります。また広範囲の組合員参加による2億円を超える出資金運動の推進を行い、事業と運動で予算達成をめざすと確認しました。

第4号議案
2016年度役員
報酬決定

2016年度の理事長、専務理事、常務理事、非常勤役員(理事・監事)の役員報酬は最高限度額として理事報酬8,500万円以内、監事報酬100万円以内とします。

第5号議案
役員改選について

2016年度は役員改選の年です。総代会では、新しい理事7名を含む35名の理事と3名の監事を選任しました。

第1回理事会で代表理事等を選出

総代会終了後に第1回理事会が開かれ、常務理事に瀬井宏幸・長濱勝彦・今西恵子・上原みゆき、副理事長に大澤芳清、理事長(代表理事)に船越正信、専務理事(代表理事)に福島哲を選出しました。



退任される
みなさま
おつか
さまでした



今期で退任された理事は次のみなさんです。中村雅香さん(病院地域)、岸本恵美子さん(病院地域)、長谷川みさをさん(東尼崎地域)、福田篤子さん(本田地域)、小川哲男さん(西宮地域)、上野良彦さん(東尼崎診療所事務長)。代表して長谷川みさをさんが退任のあいさつをされました。



新入職員を紹介しました



表彰された支部・班

- 仲間ふやし表彰：富松支部
- 出資金表彰：大庄南支部、西昆陽支部
- 四課題総合表彰：大庄北支部、南武西支部
- 班表彰：
プアーリア班(立花)、花折り紙班(長洲)、ひまわり班(稲葉)、太極拳班(立花)、あじさい班(南武西)、パンノミ班(稲葉)、絵手紙班(立花)、かおり手芸班(南武西)、ライラック班(下坂部)、おしゃべり班(立花)、ラジオ体操班(立花北)、ハイキング班(立花)、布あそび班(杭瀬)、元気会(杭瀬)、みんなで唄おう班(立花)、福ふく(杭瀬)、パンダ班(大庄北)、葉月班(大庄東)、パンピ班(大庄北)、ダンベル班(下坂部)、リス班(大庄北)、りんどう五月(浜田・崇徳院)、春日班(大庄北)、コスモス長尾(浜田・崇徳院)、五反田班(大庄北)、にこにこ班(西昆陽)、花いち班(大庄北)、カサブランカ(大庄西)、桔梗会班(大庄北)、こてまり班(大庄南)、竜馬班(大庄北)、HOT POT班(西園田) 以上32班
個人表彰は72名。お名前は割愛させていただきます。



担い手をふやそう!

支部分割後の
支部活動について

南武庫支部
支部長 多田文男さん
副支部長 清水智代子さん

南武庫支部は2011年度には3000に迫る組合員数があり、2012年度に支部分割をして、南武庫支部と水堂立花支部の2つに分かれました。今年で5年目となり2015年度の組合員数は1315人です。支部分割後、南武庫支部では担い手をどう増やすのか考え、新春のつどいなどの行事開催から機関紙配付協力者を増やし、運営委員も増やすことができました。こだわったのが機関紙配付手配りで、郵送部数195あったものが協力者を8人得て14にまで減りました。仲間ふやしでは健康チェックを年2回開催し62人の参加者と8人加入があり年度末には目標達成。社保活動では阪急武庫之荘駅前では戦争法廃止署名や熊本地震被災地支援募金活動も積極的に進めました。今後は、運営委員の

総代会での発言より



若返り、運営委員以外の新しい班づくり、地域に支部活動を知ってもらう取り組みを強化して担い手を増やしていきたいと思っています。

「つどいの場」で
つながりを実感

西宮組合員センターの
取り組み

西宮組合員センター
助け合いの会 大汐妙子さん

西宮地域には現在、浜甲子園支部、高須支部の2つの支部があります。支部に属さない2500人を超える組合員がいます。洲先にあった組合員センターは15年7月の台風被害により事務所として活用できなくなり、現在ある西宮・鳴尾に「西宮ご近所さん」とともに移転しました。新しいセンターでは、支部とともに

「センター会議」を開催して、センターの運営を進めています。新しいセンターは2階建ての一軒家で、健康チェックや学習会、一人一品を持ち寄るお食事会など、人と人とのつながりを実感できる活動が多くあります。今後はぜひとも尼崎医療生協の事業所を併設してほしいこと、センターのある鳴尾地域での支部の立ち上げ、新総合事業を踏まえた活動づくりなど、気軽に集まれる「つどいの場」を目指したいです。



目標を上回る
戦争法廃止署名

社保平和委員会 尾島紘之さん

尼崎医療生協では戦争法廃止に向けて2015年度はさまざまな取り組みを実施しました。泥憲和さんの学習会を2回、医療生協病院・小杉先生を講師にした憲法学習会、あすわか兵庫の憲法カフェほかなぜ戦争法廃止なのかしっかり学習をしました。学習とともに尼崎共同行動による各種取組を進めました。尼崎医療生協の戦争法廃止署名は10200筆目標を、12200筆に引き上げ、6月17日(次ページへつづく)

